

# 7 実現イメージとロードマップ

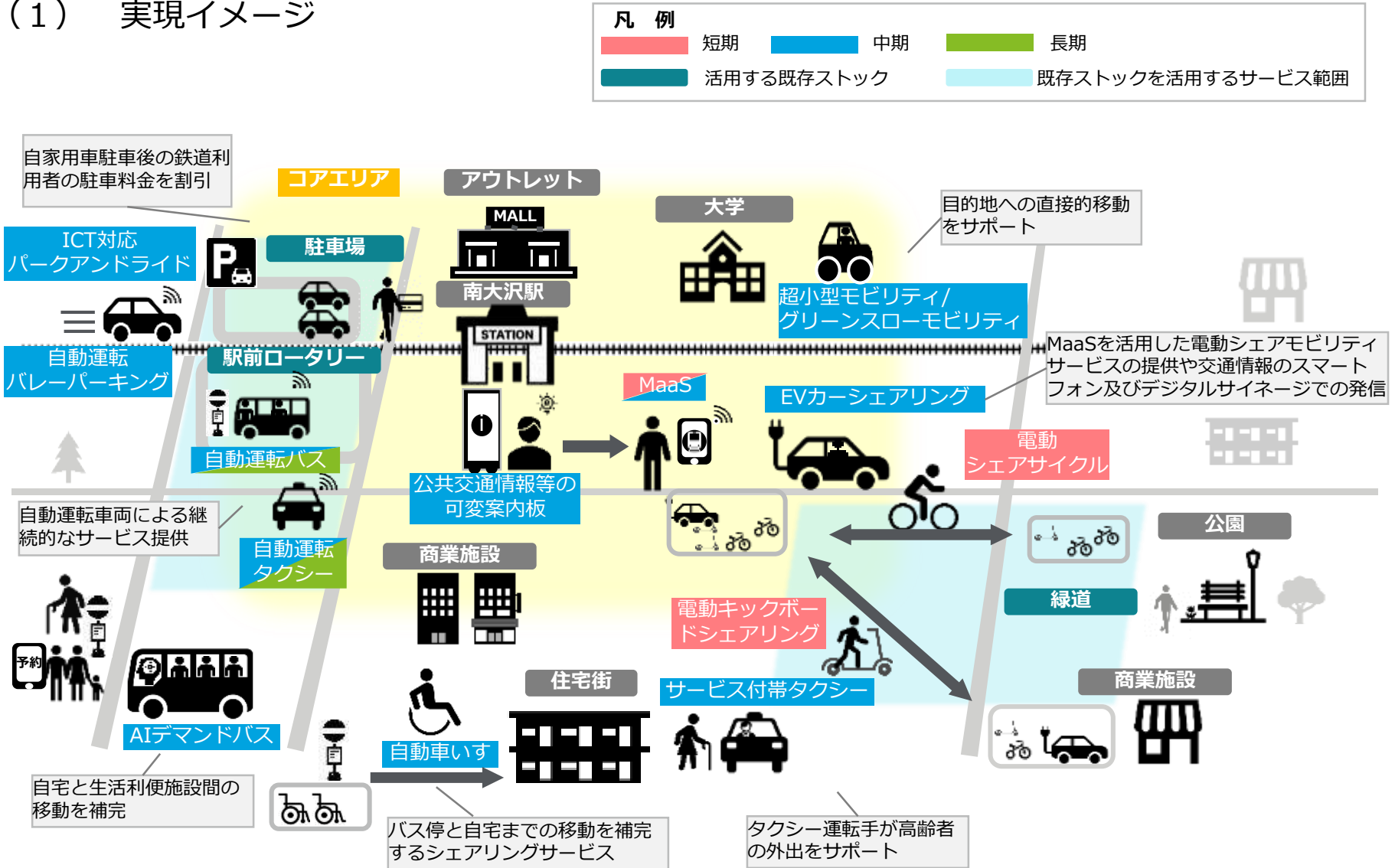
---

- 7-1 交通(モビリティ)の実現イメージとロードマップ
- 7-2 まちの賑わいの実現イメージとロードマップ
- 7-3 情報(ICTインフラ)の実現イメージとロードマップ

※その他の施策は、技術の進展や関係者との調整等を踏まえ、今後、本事業を推進していく中で適切な時期に検討する。

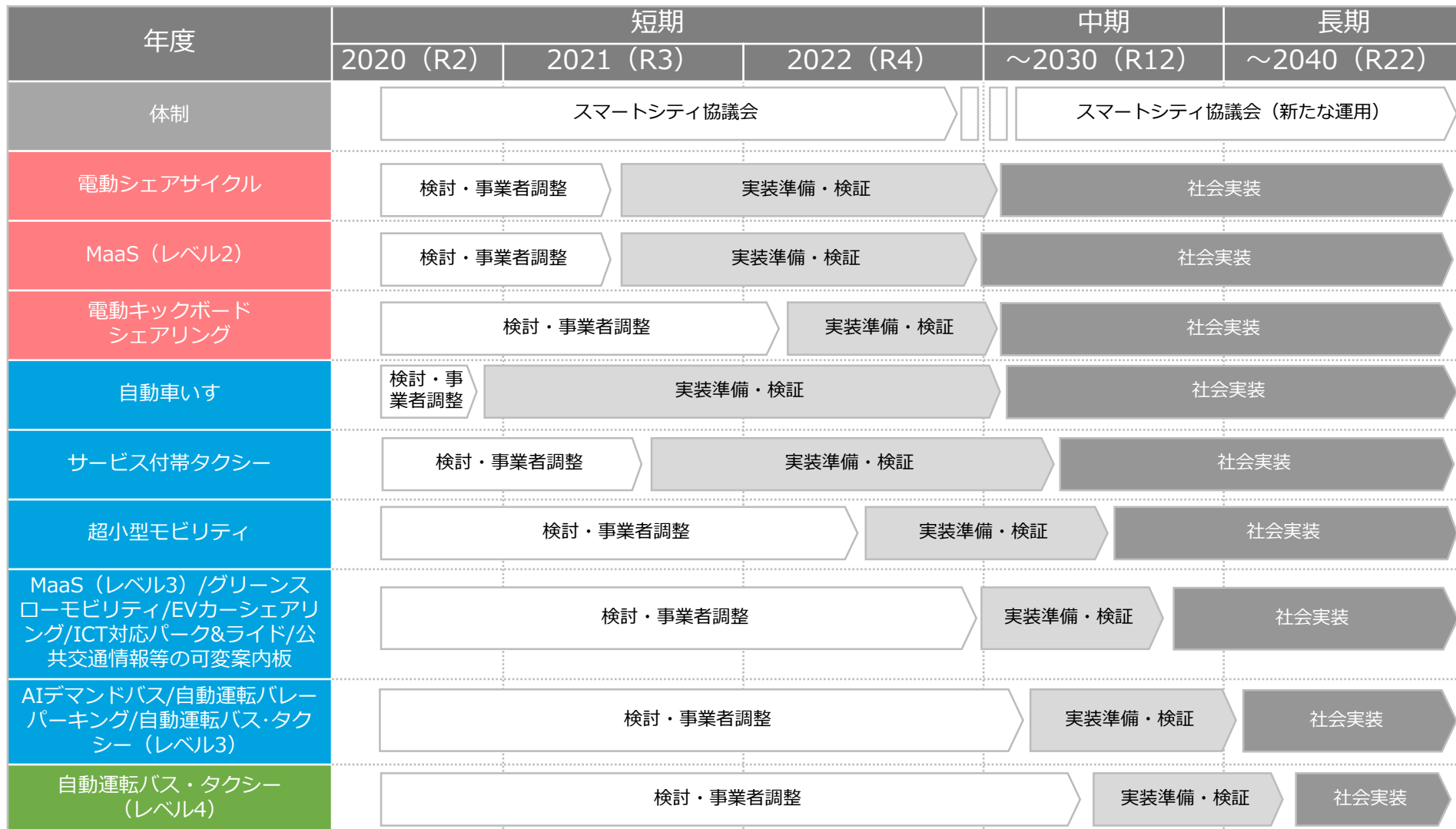
# 7-1 交通(モビリティ)の実現イメージとロードマップ

## (1) 実現イメージ



※本実現イメージ図は、現時点での予定を整理したものであり、今後の技術・サービスの進展、社会環境、実施事業者や地元関係者との詳細調整等により、具体的な時期・内容については必要に応じて適宜変更する。

## (2) ロードマップ

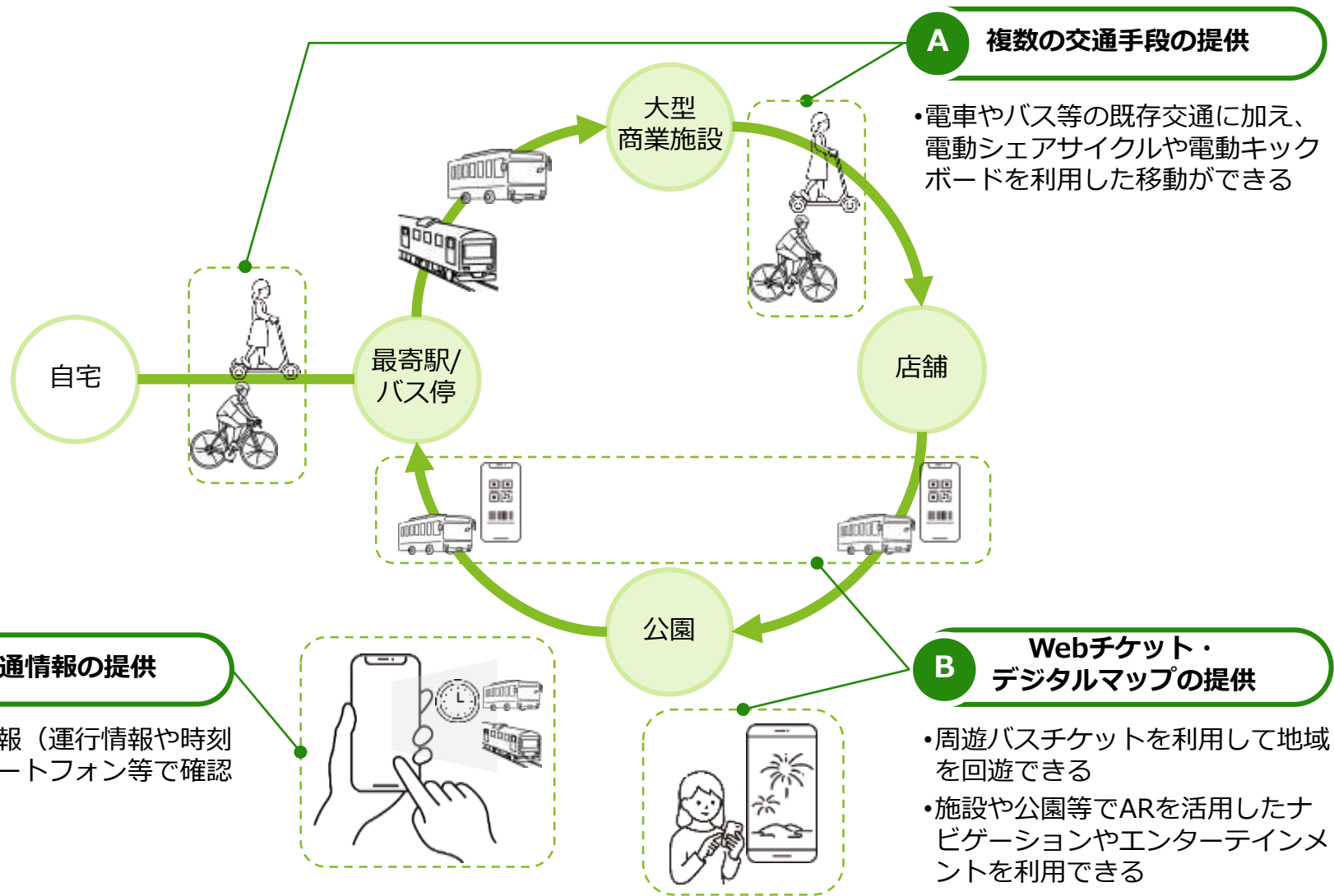


※本ロードマップは、現時点での予定を整理したものであり、今後の技術・サービスの進展、社会環境、実施事業者や地元関係者との詳細調整等により、具体的な時期・内容については必要に応じて適宜変更する。

※公共交通情報の可変案内板、グリーンスローモビリティ、サービス付帯タクシー、AIデマンドバス、自動運転バス、自動運転タクシー等については、今後、地域の潜在ニーズの把握を行った上で、既存交通を含めた地域交通施策としての社会実装化を別途検討していく。

### (3) 社会実装施策のイメージ図

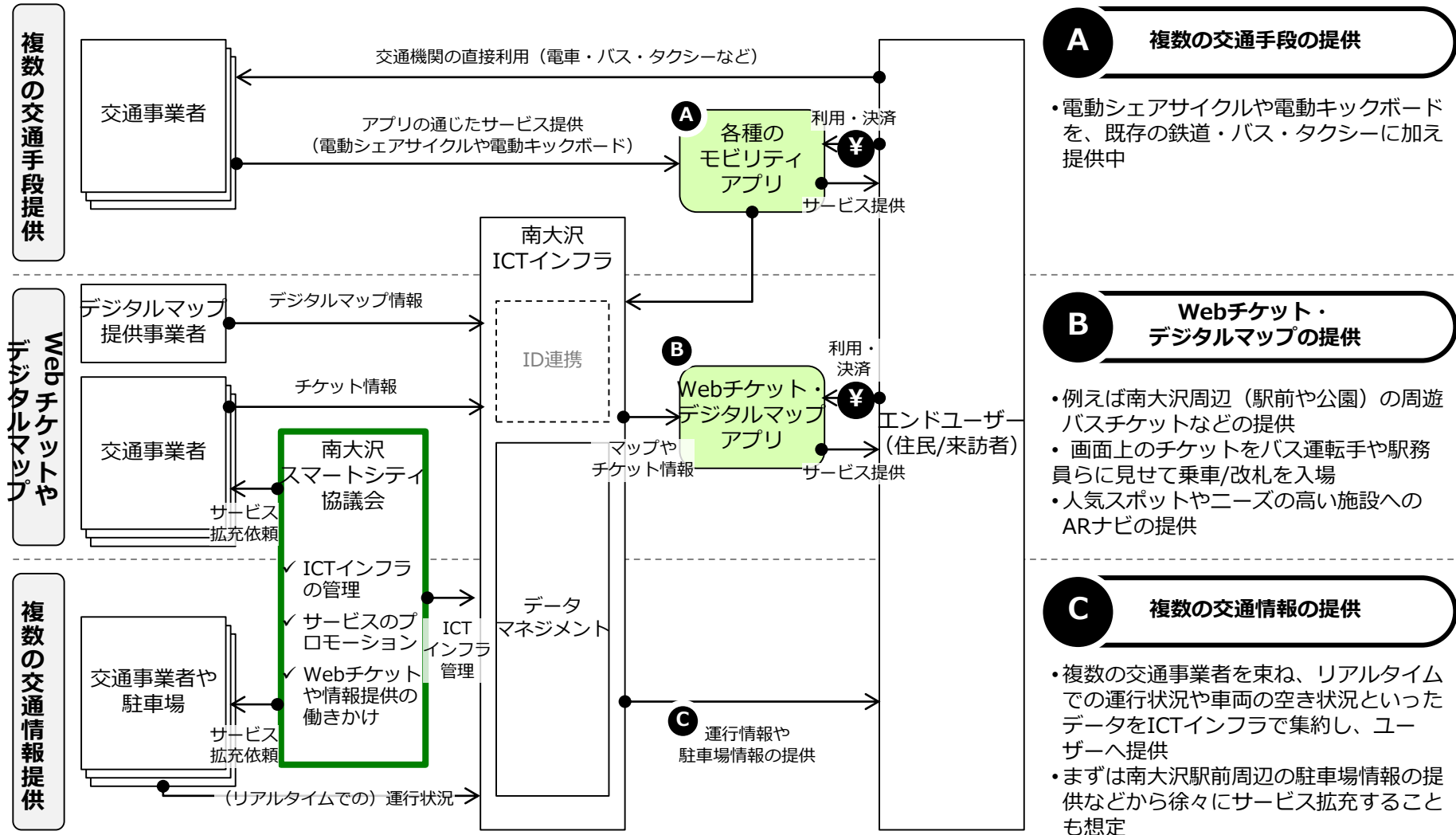
- モビリティ領域における社会実装施策（必要性・実現性が高い短期施策）を実現したイメージは下記のとおりである。



## (4) 社会実装施策のスキーム図

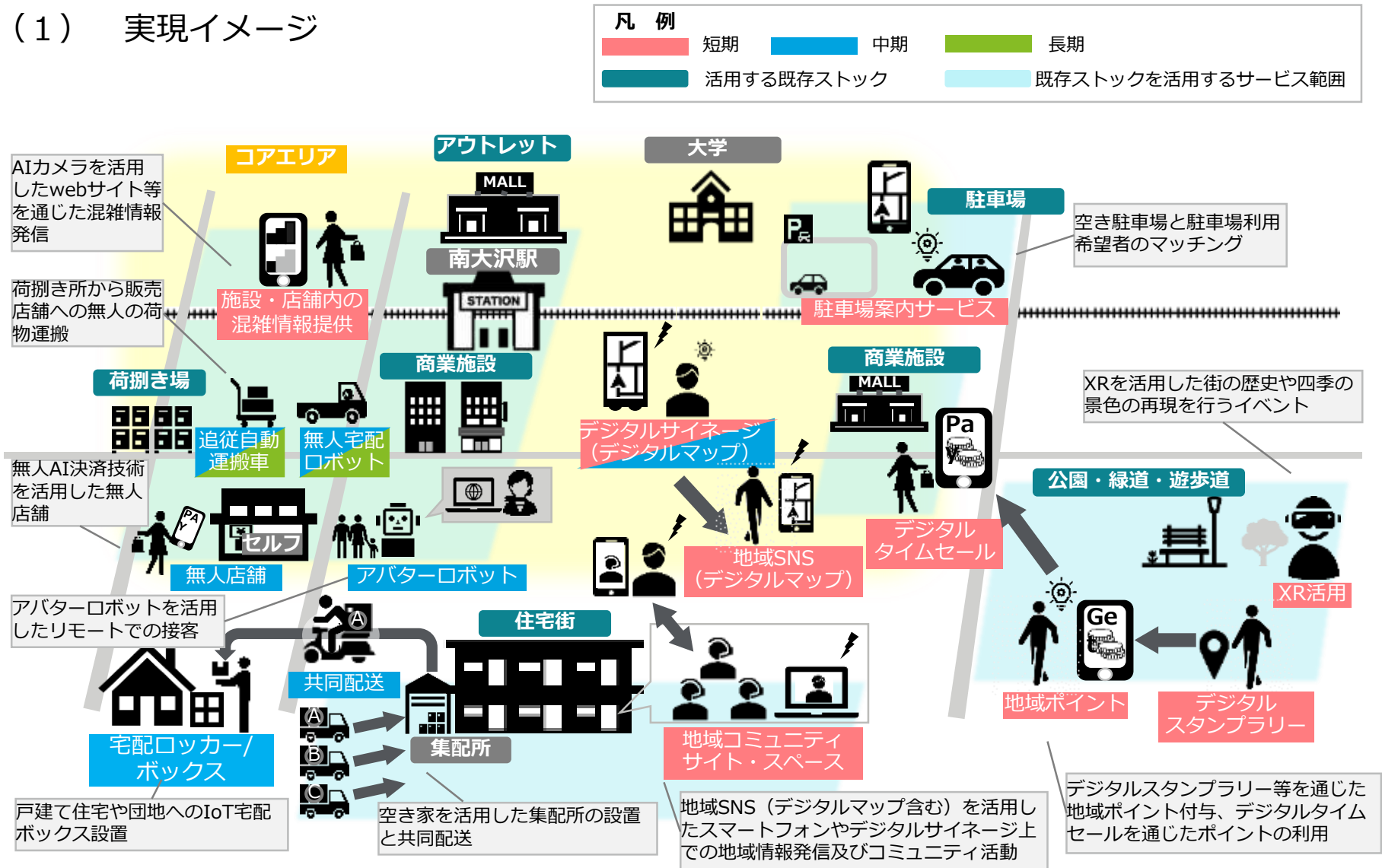
- 既に「複数の交通手段提供」は実現しつつあり、今後はWebチケットやデジタルマップ（ARナビ）の恒常的な提供を通じた交通課題の解消を目指す。

### ■ MaaSによる複数の交通情報・手段の提供



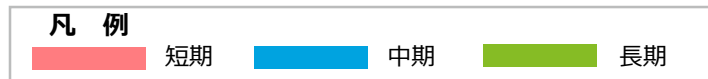
# 7-2 まちの賑わいの実現イメージとロードマップ

## (1) 実現イメージ



※本実現イメージ図は、現時点での予定を整理したものであり、今後の技術・サービスの進展、社会環境、実施事業者や地元関係者との詳細調整等により、具体的な時期・内容については必要に応じて適宜変更する。

## (2) ロードマップ

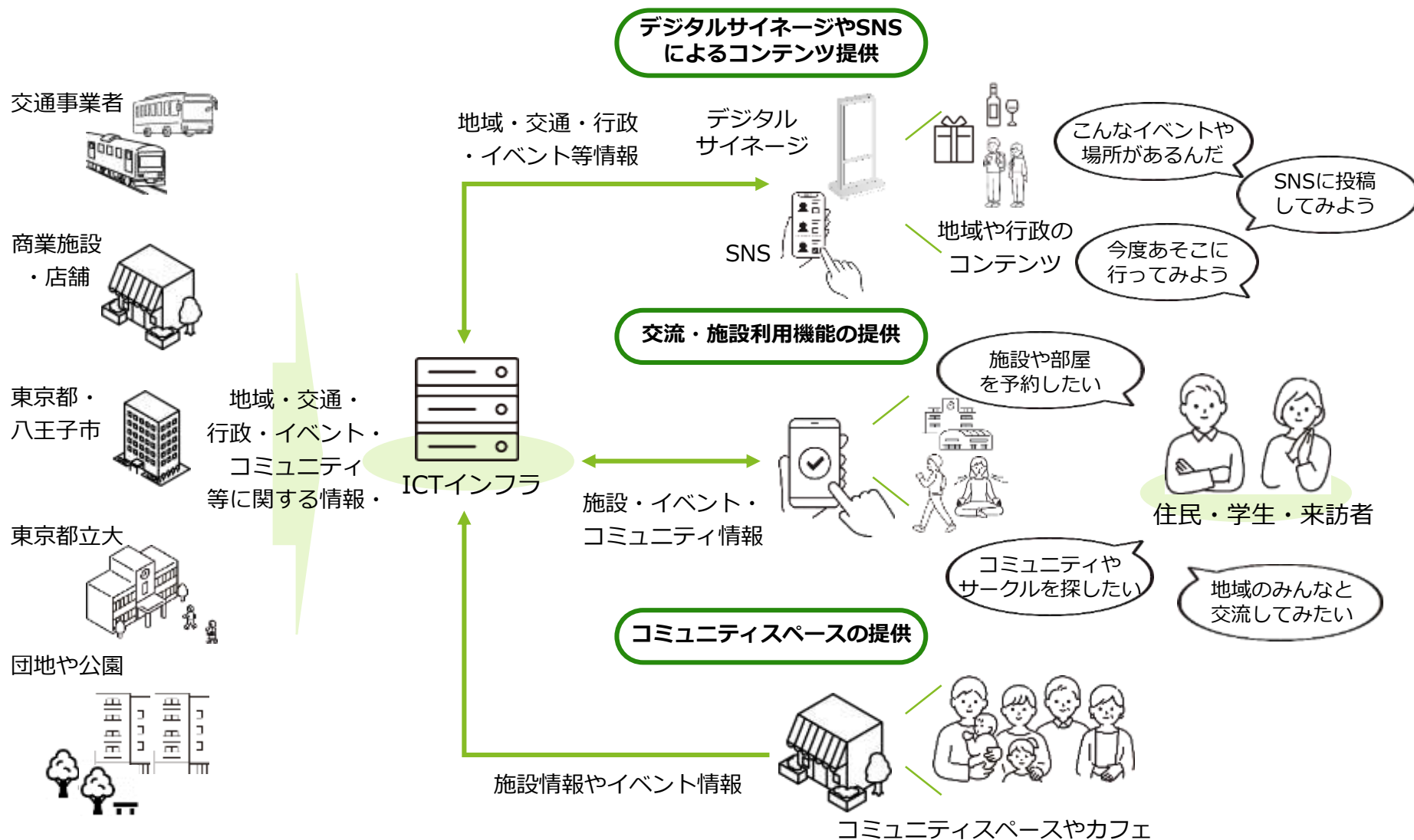


年度	短期			中期	長期
	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	~2030 (R12)	~2040 (R22)
体制	スマートシティ協議会			スマートシティ協議会 (新たな運用)	
デジタルサイネージ (単一事業者) / 店舗、施設内の混雑情報提供/駐車場案内サービス	検討・事業者調整		実装準備・検証	社会実装	
デジタルマップ/デジタルスタンプラリー/デジタルタイムセール/XR活用	検討・事業者調整	実装準備・検証		社会実装	
地域コミュニティサイト・スペース/地域SNS/地域ポイント	検討・事業者調整		実装準備・検証	社会実装	
アバターロボット/追従自動運搬車 (特定施設間)	検討・事業者調整	実装準備・検証		社会実装	
デジタルサイネージ (複数事業者) / 宅配ロッカー・宅配ボックス	検討・事業者調整			実装準備・検証	社会実装
無人店舗/無人宅配ロボット (特定施設間) / 共同集配	検討・事業者調整			実装準備・検証	社会実装
追従自動運搬車・無人宅配ロボット (地区導入)	検討・事業者調整			実装準備・検証	社会実装

※本ロードマップは、現時点での予定を整理したものであり、今後の技術・サービスの進展、社会環境、実施事業者や地元関係者との詳細調整等により、具体的な時期・内容については必要に応じて適宜変更する。

### (3) 社会実装施策のイメージ図

- まちの賑わい領域におけるデジタルサイネージやSNSによるコンテンツ提供、交流・施設利用機能の提供、コミュニティスペースの提供のイメージは下記のとおりである。

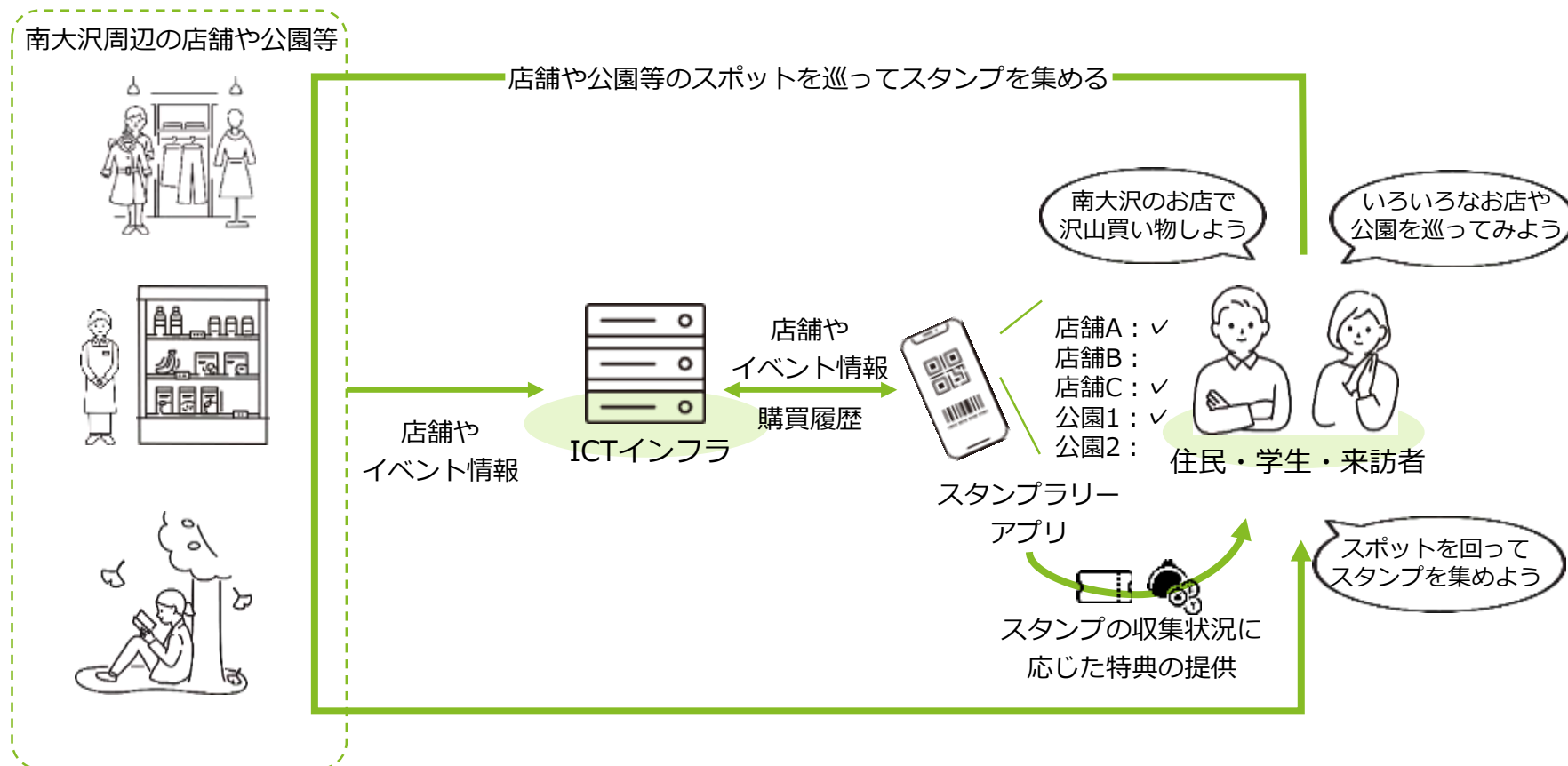




### (3) 社会実装施策のイメージ図

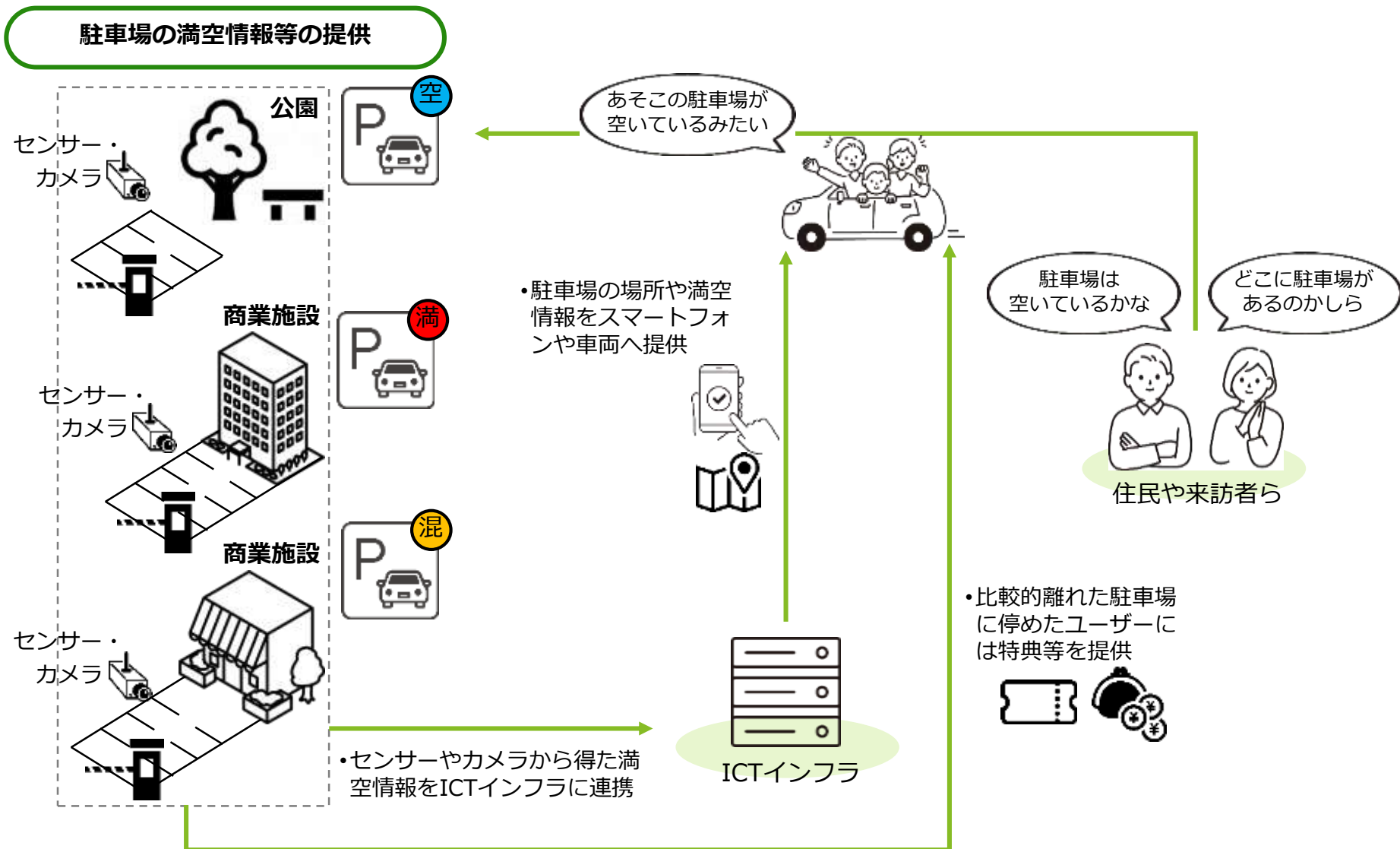
- まちの賑わい領域におけるスタンプラリー形式でのサービスのイメージは下記のとおりである。

#### スタンプラリー形式でのサービス提供



### (3) 社会実装施策のイメージ図

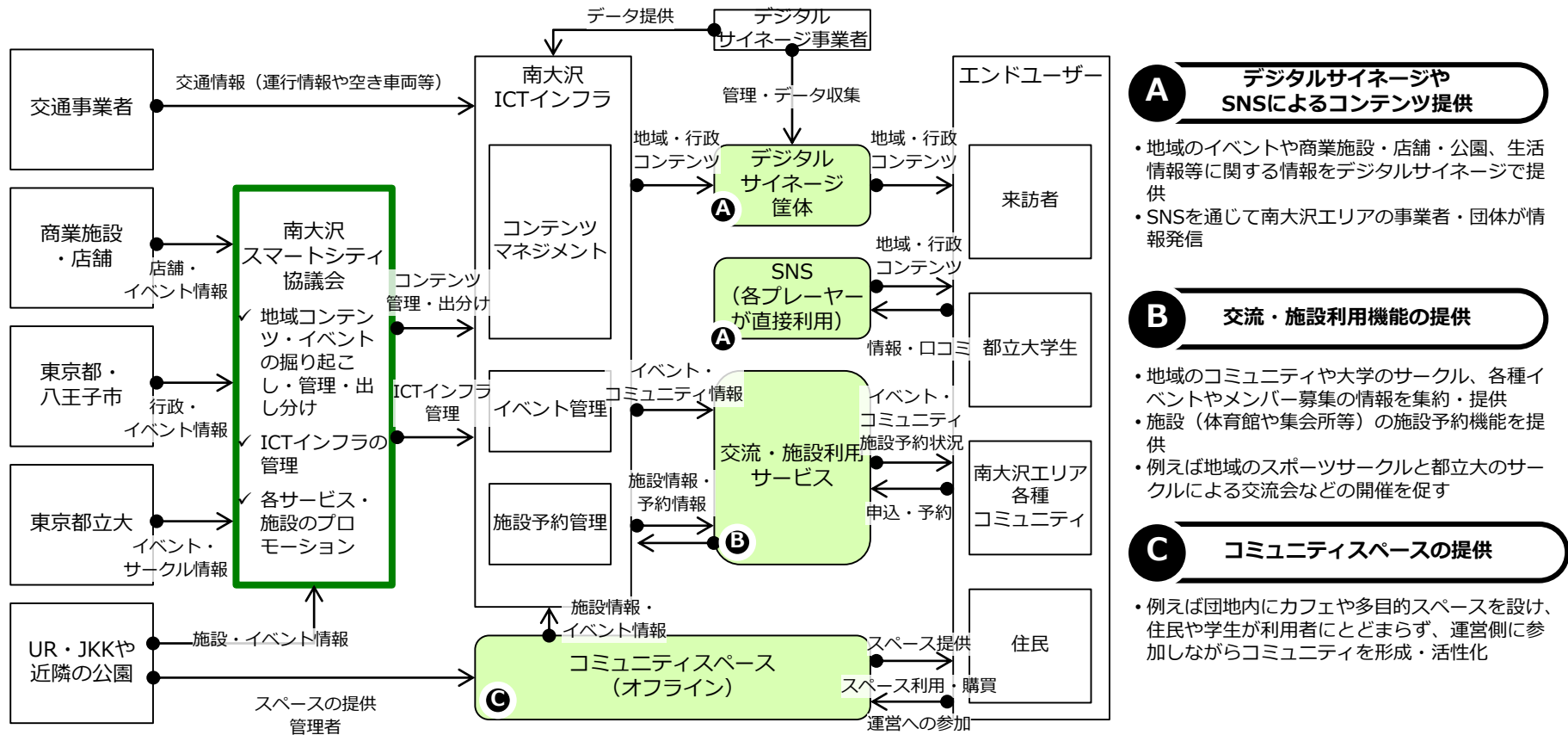
- 駐車場の満空情報等の提供サービスに関するイメージは下記のとおりである。



## (4) 社会実装施策のスキーム図 (1/3)

- オンラインを活用した情報発信にとどまらず、コミュニティの形成・活性化の仕組みをオンライン・オフライン双方で提供していくことでコミュニティ形成・活性化を目指す。

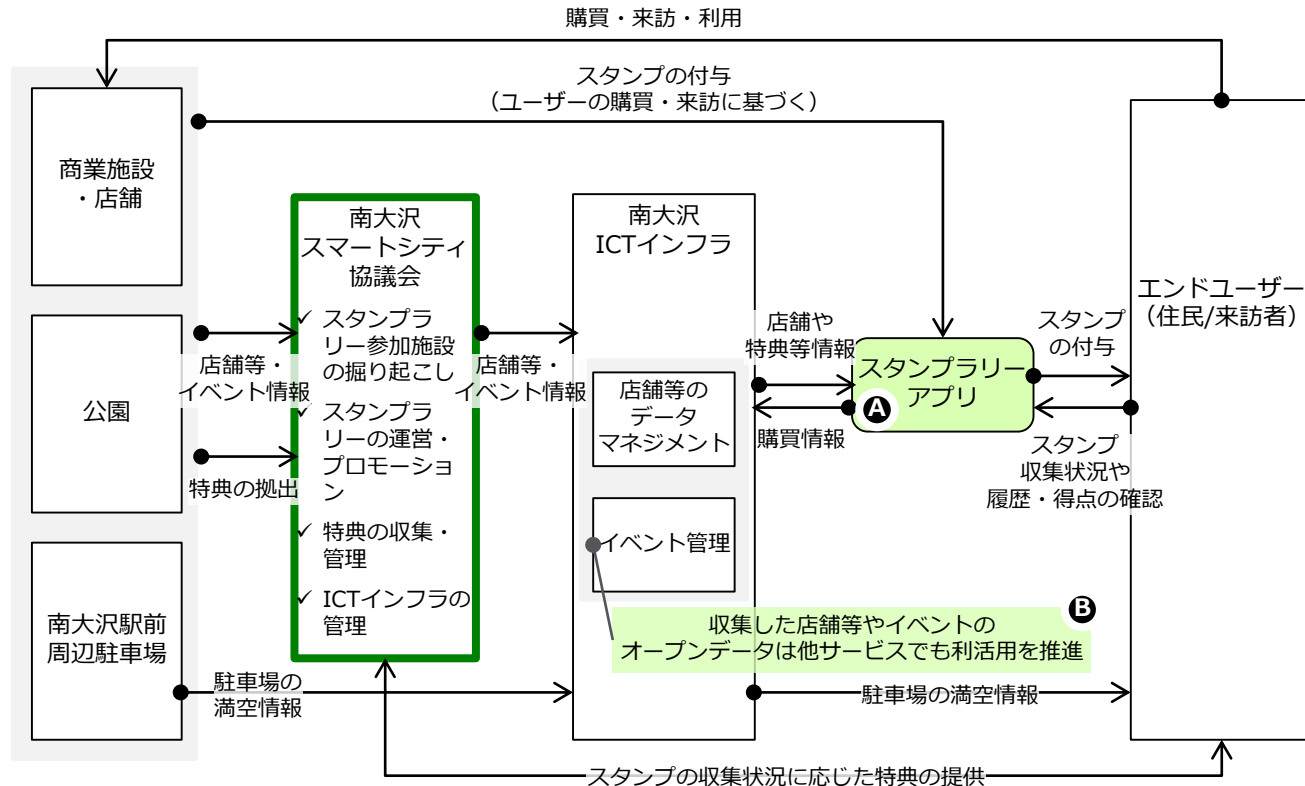
### ■ オンライン・オフライン融合のコミュニティ形成



## (4) 社会実装施策のスキーム図 (2/3)

- まずはスタンプラリーのサービスを恒常的に行うことで回遊性向上を目指す。

### ■ 地域ポイント等による回遊性向上



#### A まずはスタンプラリー形式でサービス提供

- 地域ポイントの実現にはその原資の獲得や仕組み・システムづくりに相応のリードタイムがかかる
- まずは地域のスタンプラリーおよび特典の提供を柱としたサービスを恒常的に提供することを目指すか
- スタンプラリーの実施を通じて南大沢エリアにおけるユーザーの購買状況を可視化
- スタンプラリーの拡充と軌を一にして店舗等の情報をICTインフラに蓄積

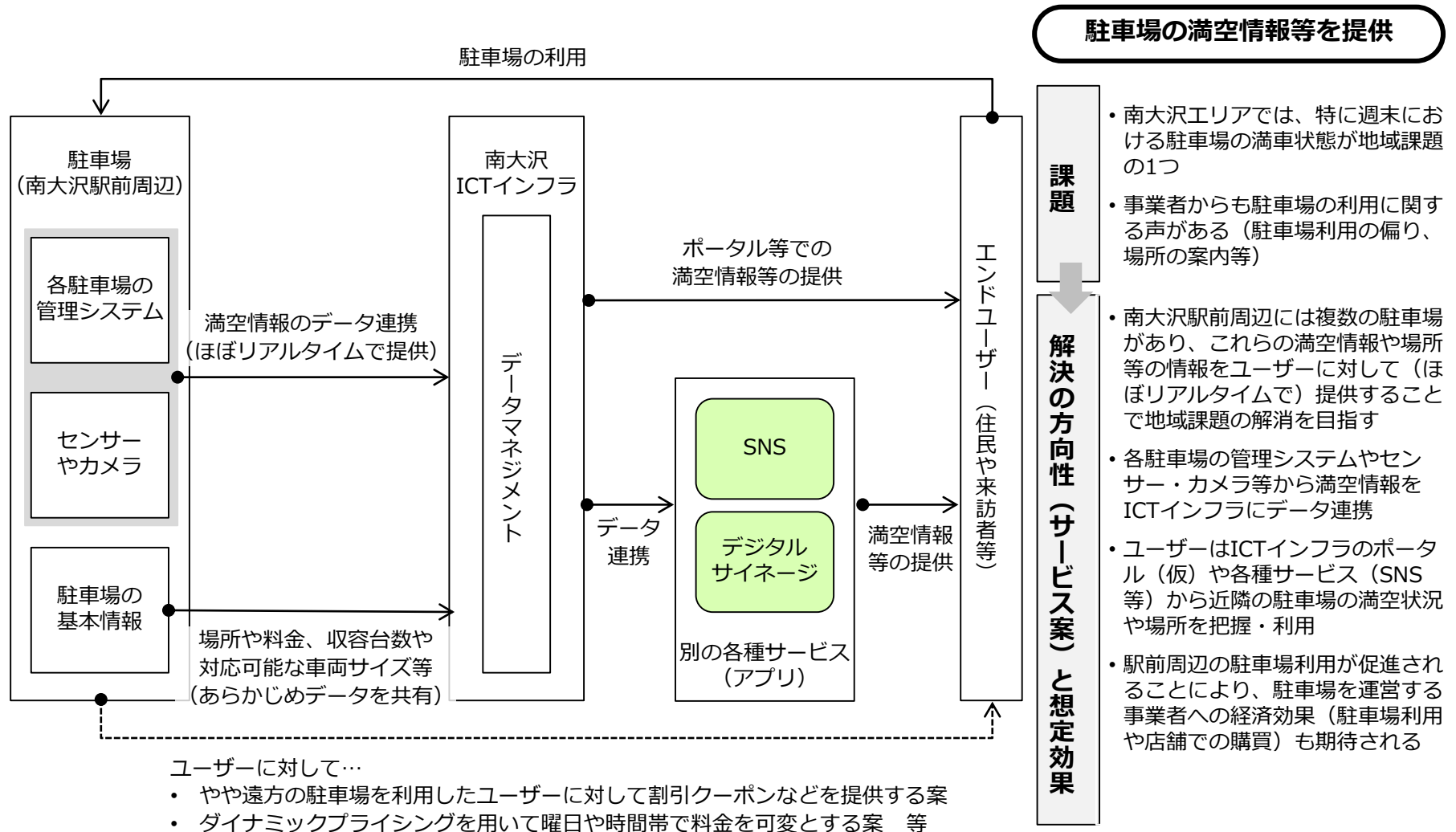
#### B 店舗等情報の利活用を推進

- 蓄積された店舗等の情報は他のサービスでも利活用を推進していく 例) デジタルマップ (ARナビ) での店舗等情報の表示など

## (4) 社会実装施策のスキーム図 (3/3)

- 南大沢駅周辺の駐車場における満空情報等をユーザーに提供することで、地域課題の解消や経済効果を実現していく。

### ■ 駐車場の満空情報等の提供サービス



# 7-3 情報(ICTインフラ)の実現イメージとロードマップ

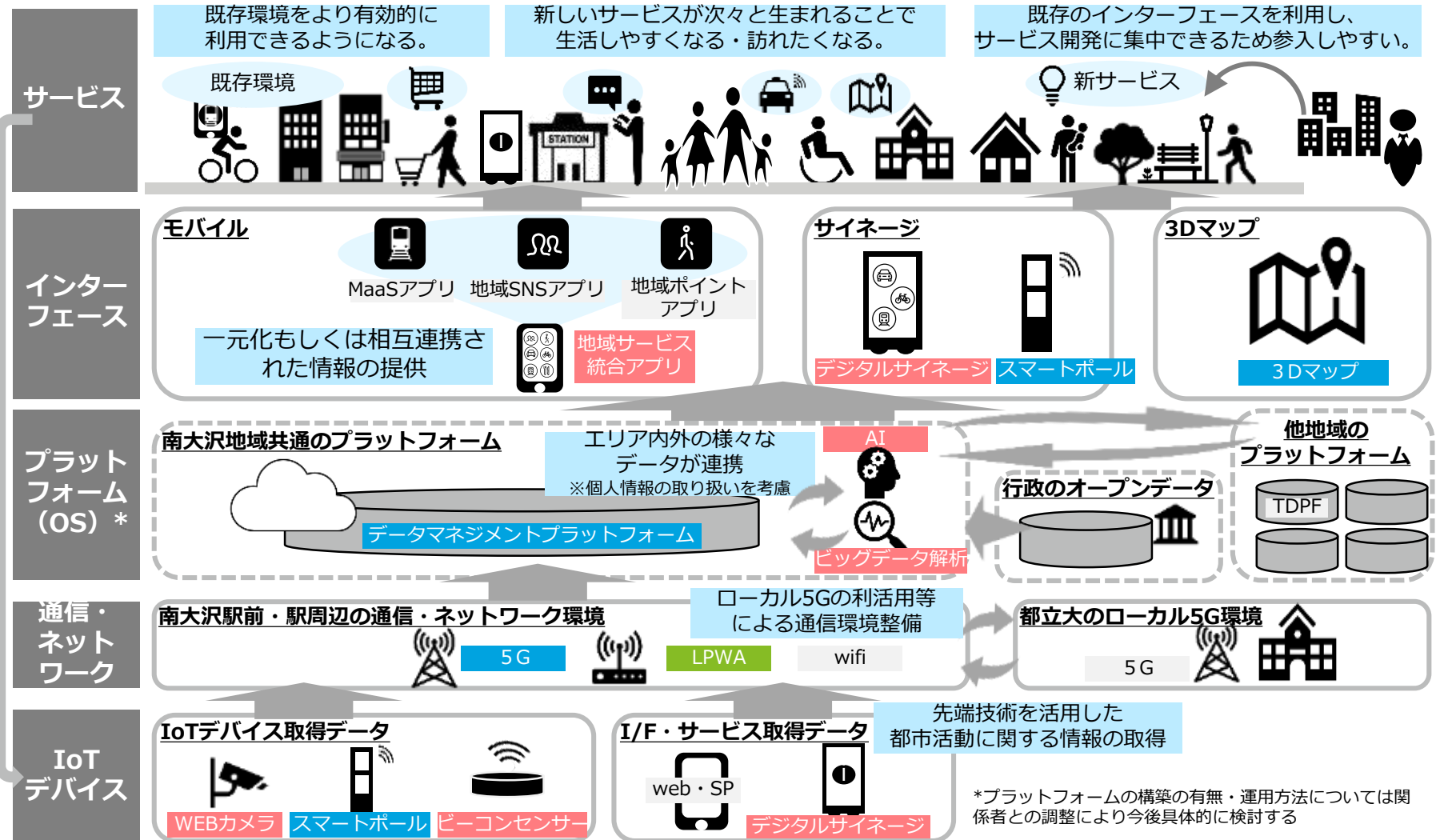
## (1) 実現イメージ

凡例

短期

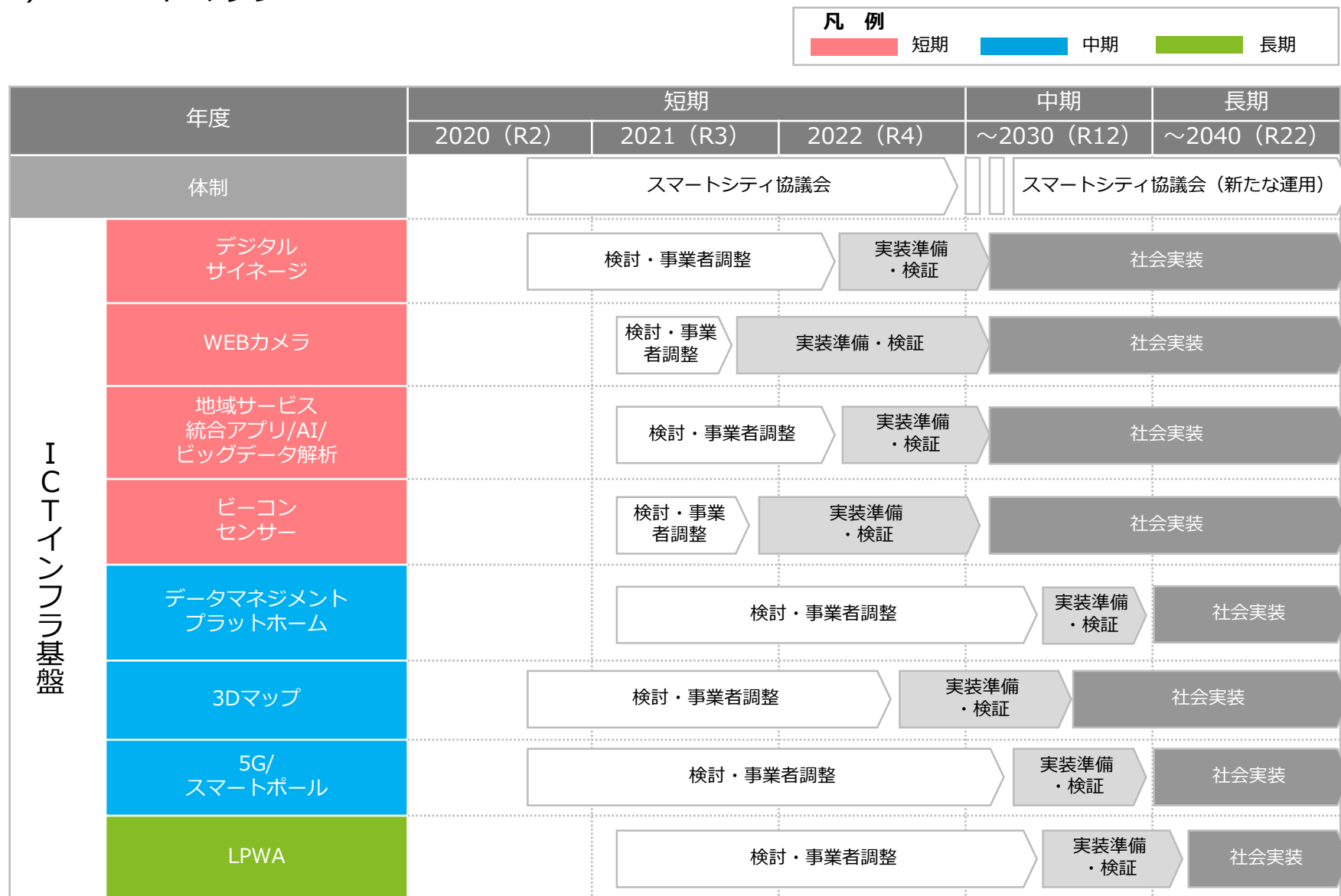
中期

長期



※本実現イメージ図は、現時点での予定を整理したものであり、今後の技術・サービスの進展、社会環境、実施事業者や地元関係者との詳細調整等により、具体的な時期・内容については必要に応じて適宜変更する。

## (2) ロードマップ



※本ロードマップは、現時点での予定を整理したものであり、今後の技術・サービスの進展、社会環境、実施事業者や地元関係者との詳細調整等により、具体的な時期・内容については必要に応じて適宜変更する。

# (参考) 社会実装施策の展開

- 概ね1年程度をめどに実施主体とサービスの具体化と業務・システム構築及びICTインフラの構築を進める。その上で段階的にサービス導入を開始していく。

